



2026年3月3日
東日本旅客鉄道株式会社秋田支社
株式会社 JR 東日本びゅうツーリズム&セールス

観光列車「ひなび(陽旅)」でいくSAKE TRIPを販売します

JR 東日本秋田支社と JR 東日本びゅうツーリズム&セールスは、羽越本線沿線各地の多彩なお酒を味わえる団体旅行商品を発売します。羽越本線を初めて走行する観光列車「ひなび(陽旅)」で、風光明媚な日本海の景観を眺めながら、沿線の酒蔵の日本酒などを試飲できるほか、飲食店や酒蔵による日本酒トークを楽しめます。新津駅～秋田駅間のロングランで、特別な時間をお過ごしください。

1 概要

- (1) コース名および行程: 観光列車「ひなび(陽旅)」でいくSAKE TRIP
2026年5月9日(土) 日帰り(添乗員なし)

	行程 □■□■ JR(団体臨時列車)
日 帰 り	新津駅(11:22 頃発) □■□■ 団体臨時列車・ひなび(陽旅) □■□■ 村上駅(12:20 頃着 12:50 頃発※ホームで試飲会) □■□■ 桑川駅(13:07 頃着 13:26 頃発 ※駅に隣接する「道の駅 笹川流れ」にてお買い物が可能) □■□■ 秋田駅(17:02 頃着)

※新津駅で乗車、秋田駅で降車だけのコースです。

- (2) 募集人員: 55名(最少催行人員45名)
(3) 旅行代金: (大人1名さま)
グリーン車指定席: 25,800円
普通車指定席: 19,800円
(4) 販売開始日時: 2026年3月3日(火)14:00 発売開始
(5) お申込み方法: 株式会社 JR 東日本びゅうツーリズム&セールス「日本の旅、鉄道の旅」
サイトよりお申込みください。(インターネット限定)
<https://link.jrview-travel.com/jcsqe>
(6) 企画・実施: 株式会社 JR 東日本びゅうツーリズム&セールス



【ひなび(陽旅)】

2 おすすめポイント!

〈普通車・グリーン車共通〉

- 羽越本線沿線の酒蔵の日本酒やリキュールなど(限定酒含む) お酒の試飲
- 新潟県産の食材をふんだんに使用したオリジナルおつまみセットの提供(SUZUVEL)
- 車内で飲食店・酒蔵などによる羽越本線沿線の日本酒トーク
- 鳥海山・飛島ジオパーク研究員による沿線トーク
- 記念乗車証・漁師図鑑の配付



【記念乗車証】

デザインはお楽しみ!

〈グリーン車〉

- 「ボックスシート」を中心としたこだわりのシートでゆったり景色を鑑賞
- お酒のおかわりを優先サービス

※追加分には限りがあるため必ずしも全員にご提供できるものではありません。

- 特別なおちょこなど旅の記念にぴったりなお土産セットをプレゼント

3 当日のイベント

(1)新津駅～村上駅間

① 新潟県内で人気の日本酒3種の試飲

- ・村祐酒造 村祐 黒ラベル
- ・石本酒造 越乃寒梅
- ・菊水酒造 蔵出し清酒（銘柄は当日のお楽しみ）

②新潟県産の食材をふんだんに使用したオリジナルおつまみセットの提供(SUZUVEL)

③「くぼケン」の愛称で親しまれる TABIBAR のおいしいナビゲーター久保田さんによる日本酒トーク



【おつまみセット】

(2)村上駅ホーム

① 新潟県村上市による観光 PR

- ・鮭の酒びたしの振舞い（村上市の伝統食）

② 新潟県村上市にある酒造の振舞い

- ・宮尾酒造 〆張鶴 大吟醸 蓋（サン）含む全3種
- ・大洋酒造 大吟醸 大洋盛 含む全3種



【酒びたし】



【〆張鶴 大吟醸 蓋】【大吟醸 大洋盛】

(3)村上駅～酒田駅間

① 楯の川酒造の日本酒・リキュールの試飲

- ・日本酒1種：蔵元限定 楯野川 純米大吟醸 神降（かみふり）
- ・リキュール2種：BAR ヨー子シリーズ（ヨーグルト・ラフランス）

② 楯の川酒造による日本酒トーク



【ヨー子】

(4)酒田駅～秋田駅間

① 一般社団法人ロンドが手掛ける日本酒の試飲

- ・漁船酒 madara 5種（浩栄丸・隆栄丸・松宝丸・国芳丸・第五栄徳丸）
- ・普段は秋田県にかほ市の宿泊施設や飲食店でしか味わえない「船の揺れで熟成した漁船酒」を今回は特別に車内で提供します。

船ごとの味わいの違いをお楽しみください。

- ② 地元漁師にスポットをあてた漁師図鑑の配付
- ③ 一般社団法人ロンドによる日本酒トーク



【漁船酒 madara】

4 その他

- (1)本商品は団体旅行商品です。通常の乗車券・指定席券での乗車はできません。
- (2)飲酒を伴うイベントのため、20歳未満の方はご参加いただけません。
場合により、年齢確認をさせていただく場合がございます。
- (3)各種お酒は飲み放題ではございません。
- (4)座席位置は選べません。また、相席になる場合があります。
- (5)画像はすべてイメージです。

5 参考

【参考】「ひなび（陽旅）」とは

2両編成のディーゼルハイブリット車両「リゾートあすなろ」が、北東北の新たな観光列車として生まれ変わりました。岩手県と青森県を走った気動車によく使われた通称「盛岡色」と呼ばれる、白地に赤ラインの配色を用い、中央に山、左右に波や川、花吹雪の模様を取り入れることで、北東北の豊かな自然を表現しました。

<https://www.jreast.co.jp/railway/joyful/hinabi.html>

【参考】「SUZUVEL」について

CoCoLo 新潟西館1階にあるカフェレストランで、新潟県産の食材がふんだんに使用されている食事を楽しむことができます。TABIBARと統合して、食の複合施設「Niigata food campus SUZUVEL&TABIBAR」として食の魅力だけではなく新潟清酒の魅力や観光案内など、さらに幅広く新潟の魅力を発信する店舗となっています。

<https://suzugroup.com/shop/suzuvel> / <https://suzugroup.com/tourism/tabibar>

【参考】「宮尾酒造株式会社」について

村上市に蔵を構える酒蔵で、代表銘柄「 \times 張鶴」は、すっきりとした飲み口の中に上品な旨みを感じられる酒質で知られています。三面川水系の伏流水を仕込み水に用いることで、やわらかな口当たりと澄んだ味わいを引き出しています。さらに、五百万石や越淡麗といった酒造好適米を使用し、杜氏と蔵人が力を合わせて丁寧な酒造りに取り組むことで、バランスの取れた繊細な味わいが生み出されています。

<https://www.shimeharitsuru.co.jp/>

【参考】「大洋酒造株式会社」について

大洋酒造株式会社の歴史は、1945年に地元の14の蔵元が法令により合併した時から始まります。主力銘柄である「大洋盛」をはじめとした清酒を製造しており、朝日連峰が源の伏流水を仕込み水として用い、地元産の酒米を生かした酒造りを行っています。さらに、大吟醸酒をいち早く一般市場に送り出した蔵としても知られ、長年にわたり培ってきた伝統を大切にしながら、新しい取り組みにも挑戦し続けています。

<https://www.taiyo-sake.co.jp/>

【参考】「楯の川酒造株式会社」について

山形県酒田市で、日本酒「楯野川」ほか、地産地消のフルーツ&ヨーグルトリキュール「子宝」、ヨーグルトと日本酒を掛け合わせた「ヨー子」などを醸造しています。楯野川酒造で現在醸造している日本酒はすべて純米大吟醸です。

<https://www.tatenokawa.com/ja/sake/>

【参考】「一般社団法人 Rond」について

地域資源を活かした持続的なまちづくり及び、まちづくりに取り組む地域プレーヤーを発掘・育成・持続化することを目的に活動し、地域内外に発信することで地域の将来を担う若手がチャレンジしやすい環境を整えています。「漁船酒 madara」は、地元の漁師が祝い酒を船に積み、味の変化を楽しんでいたことをヒントにしたプロジェクトです。2022年10月29日には、JR 東日本秋田支社及び JR 東日本びゅうツーリズム&セールスと連携したツアーの中で、お客さまに酒の積み込み体験をしていただき、第1号が誕生しました。

<https://gia.rondo-nikaho.com/>

【参考】「鳥海山・飛島ジオパーク」とは

日本に48地域ある「日本ジオパーク」の一つで、山形県と秋田県にまたがる活火山「鳥海山」と、その西方約30kmに位置する「飛島」をエリアに含みます。鳥海山に降った雨や雪がもたらす湧き水が支える豊かな生態系やお米やお酒などの特産品、アマハゲなどの郷土芸能、そして数百万年間に及ぶ大地の動きがつくった絶景に出会えます。

<https://chokaitobishima.com/>